

熊本大学大学院生命科学研究所  
皮膚病態治療再建学講座

教授 福島 聡



二〇二一年二月一日付で熊本大学大学院生命科学研究所皮膚病態治療再建学講座教授に就任いたしました。皆様にご挨拶申し上げます。

私は熊本市に生まれ、生後まもなく熊本大学第二内科出身である父の国立がんセンター研修に伴い東京に移りました。その後も横須賀、松戸、大分と父の転勤で転々となりましたが、熊本市で父が開業した後は白川中学校、熊本高校、熊本大学とずっと熊本で育ちました。

熊本大学医学部卒業後は、父のクリニックを継ぐ内科医になるべきだったのでしようが、ポリクリで手術に魅せられ、進路は皮膚科と外科で迷いました。決め手になったのは、自分がひどいアトピー性皮膚炎であったことです。当時アトピー性皮膚炎にはステロイドしか治療法がなく、怪しげな民間療法

伝統ある教室をさらに発展させていく所存です。

さて、私は宮崎大学に五年間在籍しましたが、大学院生の教育のほか、私たちの教室が主導して脳腫瘍や脳血管障害に関する全国多施設共同研究を複数行いました。産学連携にて骨折のAI自動診断技術を開発し、今特許を申請中です。また、環境省からの委託研究として、水俣病における脳構造の統計解析を国立水俣病総合研究センターと東京大学と共同で行い、MRIを用いた水俣病患者の脳皮質や白質の異常の網羅的探索のほか functional MRI

による脳神経のネットワーク異常の探索などを行ってきました。宮崎大学に関する朗報として、昨今、大学野球部の後輩である海北幸一君、西山功一君が宮崎大学医学部の教授に就任しました。大学野球部、および宮崎大学の先輩として大変うれしく思います。

現在、私どもの教室は、最先端のCT、MRI、PET装置を駆使して高度な画像診断を行い、また、インターベンシヨナルラジオロジー（IVR）においても本邦で屈指の症例数で、非常に高度な技術で診療しています。また、教育においてもICTを用いた環

熊本大学大学院生命科学研究所  
放射線診断学講座

教授 平井 俊範



令和二年九月一日付けをもちまして熊本大学の講座担当者として五年ぶりに母校に戻

てまいりました。私は平成元年に第三代の高橋睦正教授が運営をされていた放射線医学教室に入り、興梠征典先生のもとで神経放射線学の研鑽を積みましました。この度第五代教授として先代山下康行教授から伝統ある教室を引き継ぐことを光栄に思います。また、この

と思います。二〇二〇年十二月からは、Fib-4 index 計算サイトを活用した「熊本肝炎・脂肪肝プロジェクト」を開始しましたので、是非ご活用頂ければ幸いです（図2）。

今年度からは熊本病院副院長を拝命しましたので、熊本大学のために少しでも貢献できればと存じます。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。